



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月26日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2804 URL https://www.bulldog.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 犬塚 太郎 (TEL) 03(3668)6821
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,369	△0.2	181	47.3	313	8.4	200	△46.4
2019年3月期第1四半期	4,377	2.5	123	△44.1	289	△32.4	374	24.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △112百万円(-%) 2019年3月期第1四半期 601百万円(47.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.97	—
2019年3月期第1四半期	27.91	—

(注) 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。
 1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	25,465	19,770	77.6	1,474.07
2019年3月期	26,028	20,018	76.9	1,492.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,770百万円 2019年3月期 20,018百万円

(注) 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。
 1株当たり純資産については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。
 2019年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載し、2020年3月期(予想)については、当該株式分割後の配当金の金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2020年3月期(予想)の年間配当金合計は70円(第2四半期末35円、期末35円)となり、実質35円の増配となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,700	1.3	300	43.1	450	0.7	300	△37.6	22.37
通期	17,300	1.7	600	39.5	860	△15.7	570	△26.3	42.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。
 1株当たり当期純利益については、当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,954,880株	2019年3月期	13,954,880株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	543,008株	2019年3月期	542,928株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,411,872株	2019年3月期1Q	13,412,148株

1. 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

2. 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の低迷によって製造業においては強い停滞感がありましたが、国内需要が堅調であるため景気後退には至りませんでした。大型連休、インバウンド拡大等を背景に個人消費が堅調だったものの、低価格・節約志向は続いており、依然として先行き不透明な状況であります。

このような状況の下、当社グループは、①業務改革の推進、②新ブランドの定着化、③業務用商品の売上拡大という今期のテーマを掲げ、経営基盤の強化を進めております。

ブルドックソースの営業活動につきましては、主力商品であるソース類の価値向上に引き続き努めるとともに、新ブランド「Bull-Dog」ドレッシング類の認知拡大に向け、4月のテレビCM放映及び店舗試食販売等の販促活動を実施してまいりました。また、5月には、JA全中主催セミナー『日本橋「ゆかり」野永三代目が紹介！～ゆかりのまかないお見せします～』において、当社商品「うまソース」「うまソーストマトタイプ」を使用したメニューを提案しました。

イカリソースにおいては、2月に発売したドレッシングの新シリーズ「季の皿（ときのさら）」3アイテムのお客様キャンペーンを行いました。また併せてオンラインショップのお客様対象の新商品モニターキャンペーンを実施しました。

業務用商品につきましては、4月よりブルドックソースに業務用推進部を立ち上げ、グループ横断的な営業活動を行うとともに、ブルドックソース、イカリソース共に企画提案型営業を強化して中食市場や惣菜売り場を中心に積極的な提案に努め、さらなる新規ユーザーの獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は43億6千9百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。利益面につきましては、減価償却費の減少などにより、営業利益は1億8千1百万円（前年同四半期比47.3%増）、経常利益は3億1千3百万円（前年同四半期比8.4%増）となりましたが、前第1四半期連結累計期間に賃貸不動産売却による固定資産売却益を計上していたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億円（前年同四半期比46.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億6千2百万円減少し、254億6千5百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて4千3百万円増加し、89億3千2百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べて6億6百万円減少し、165億3千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて3億1千4百万円減少し、56億9千5百万円となりました。

流動負債につきましては、その他に含まれる未払金の減少などにより前連結会計年度末に比べて1億7千5百万円減少し、35億7千4百万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べて1億3千8百万円減少し、21億2千万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて、2億4千8百万円減少し、197億7千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,604	3,188
受取手形及び売掛金	4,592	4,983
商品及び製品	504	516
原材料及び貯蔵品	104	150
仕掛品	15	24
その他	67	69
流動資産合計	8,888	8,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,714	2,673
機械装置及び運搬具（純額）	2,261	2,205
土地	2,656	2,656
その他（純額）	129	125
有形固定資産合計	7,761	7,660
無形固定資産	99	89
投資その他の資産		
投資有価証券	8,549	8,049
繰延税金資産	134	136
その他	628	632
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	9,278	8,783
固定資産合計	17,139	16,532
資産合計	26,028	25,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,798	1,619
電子記録債務	—	337
1年内返済予定の長期借入金	146	126
未払法人税等	168	84
未払費用	1,086	1,043
賞与引当金	191	97
その他	358	264
流動負債合計	3,750	3,574
固定負債		
長期借入金	300	300
繰延税金負債	1,040	910
退職給付に係る負債	794	792
役員株式給付引当金	19	22
執行役員退職慰労引当金	6	7
長期末払金	37	37
その他	60	50
固定負債合計	2,259	2,120
負債合計	6,009	5,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	14,664	14,729
自己株式	△653	△653
株主資本合計	17,620	17,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,364	2,051
退職給付に係る調整累計額	33	33
その他の包括利益累計額合計	2,398	2,085
純資産合計	20,018	19,770
負債純資産合計	26,028	25,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,377	4,369
売上原価	2,211	2,103
売上総利益	2,165	2,265
販売費及び一般管理費	2,041	2,084
営業利益	123	181
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	106	108
投資有価証券売却益	56	23
その他	4	2
営業外収益合計	167	133
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	0	1
営業外費用合計	1	2
経常利益	289	313
特別利益		
固定資産売却益	256	—
特別利益合計	256	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	—	24
特別損失合計	0	25
税金等調整前四半期純利益	545	287
法人税等	170	86
四半期純利益	374	200
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	374	200

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	374	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	△313
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	226	△313
四半期包括利益	601	△112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	601	△112
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、大型設備投資を契機として当社グループの生産設備等の利用状況を調査した結果、長期的な安定稼働が見込まれ、また技術革新による陳腐化リスクも少ないことから、取得原価を使用可能期間にわたり均等に費用配分する定額法が、今後のグループの経営実態をより適正に反映するものと判断したためであります。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30百万円増加しております。

(追加情報)

当社は、2019年6月14日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月1日付で以下のとおり株式分割を予定しております。

(1) 株式分割の目的

当社への投資しやすい環境を整えるため、投資単位（最低投資金額）を引き下げ、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的として行うものであります。

(2) 分割の方法

2019年7月31日(水曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(3) 分割の日程

基準日公告日	2019年7月1日(月曜日)
基準日	2019年7月31日(水曜日)
効力発生日	2019年8月1日(木曜日)

(4) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	6,977,440株
今回の分割により増加する株式数	6,977,440株
株式分割後の発行済株式総数	13,954,880株
株式分割後の発行可能株式総数	40,000,000株

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割による影響については、サマリー情報に反映されております。